

下水道普及啓発活動部門

愛されつづけて10年、加瀬水処理センター

神奈川県川崎市

川崎市加瀬水処理センター上部の「加瀬ふれあい広場」は、一般開放から10年が経過した今も、町内会などで構成する「加瀬ふれあいの広場施設開放委員会」のもと、地域に根ざした住民主体の運営が行われ、周辺住民に広く利用されています。また、防災機能を兼ね備えたこの広場は、地域防災計画上の緊急時避難場所として位置付けられており、職員の防災訓練を継続実施するとともに、市民団体が主催する「夏のふれあいフェスタ」では、ふれあい広場の目的の一つである防災を考慮して、消防と地域が連携した防災訓練が行われるなど、住民の防災意識の向上にも活用されています。平成18年には、市民団体の主催により、施設開放10年を記念した植樹祭が行われるなど、潤いのある地域活動の中心地として愛されつづけています。



記念式典での記念植樹の除幕式



少年サッカーによる施設利用状況



夏のふれあいフェスタ



施設開放10年の記念と植樹祭しおり



夏のふれあいフェスタでの防災訓練